

活動資金／広報／仲間集め

ほかの団体はどうしているの？

どのように活動資金を集めていますか？

- 交流会での意見
- 〈団体内で集める〉
- 参加費の徴収
- フリーマーケットの売上を充当

〈交付金制度の活用〉

- 市民提案型まちづくり活動支援交付金の活用
- 企業の地域づくり活動助成制度などの活用

〈その他〉

- クラウドファンディング（不特定多数の方に、インターネット経由で財源の提供などの協力を求める方法）の活用
- ふるさと納税の地域指定制度の活用

MEMOS

交付金制度は、活用するだけでなく、自立した運営を目指した採算立てが大事との意見がありました。

また、地縁型団体については、地域指定でのふるさと納税を呼びかけるといった活動もされているそうです。

どのように広報していますか？

- 交流会での意見
- 〈SNSの活用〉
- Facebook、LINE
- 紙媒体

〈紙媒体〉

- チラシを発行し、他のNPOの事務所などへ設置依頼をする
- 毎月通信誌で地域に活動を報告

〈情報の持ち込み〉

- 南丹市情報センター、各種新聞社、ラジオ・テレビ局へ直接伺い、取り組みを伝え、取材を依頼する

〈口コミ〉

- 初回の参加費を無料にし、活動の雰囲気を知ってもらう

MEMOS

新聞社などへの取材依頼は、参加者の約8割が行われていました。

「必ず持ち帰ってもらえるよう、チラシはイベントの帰り際に渡す」といった工夫をされている方もありました。

普段の取り組みから改良の余地が見つかるかもしれませんが。

どのように仲間を集めていますか？

交流会での意見

- 〈自分たちから働きかける〉
- 活動目的に応じてターゲットを絞り、呼びかける
- 地元行事などで帰省した方に声掛けを行う
- 直接お会いして話す
- 公募記事の掲載を新聞社に依頼する

〈雰囲気づくり〉

- 活動を通して団体へのファンを増やす
- まず中心となる人間が楽しんで取り組むと、仲間も増えやすい

MEMOS

「直接伝えるのが事業内容や理念を伝えやすいが、その分、誤まった情報も広がりやすいので、正確な説明を心がける必要がある」と口伝えの有効性と留意点を挙げられました。

活動の趣旨や、やりがいを整理すると良い説明ができ、濃い協力関係に結び付くというご意見もありました。

おわりに

今回初めて参加された方からは、「主にどう事業を進めるかを考えていたが、『まず自分たちが楽しむことが大切』という言葉が心に残った」とのお話を聞くことができました。

交流会では、課題の共有以外にも、他の団体の活動にかける思いや、事業をサポートする制度の情報を知ることができ、活動のヒントにつながる可能性があります。今後も開催を予定しておりますので、是非ご参加ください。

